

## 日本常民文化研究所

日本常民文化研究所では、より広いテーマを取り上げ、より多くの人々の参加を求めて常民文化研究講座を毎年開催しています。常民文化研究講座は、古文書修復実習と民俗や民具に関する実習の講座を併設し、毎年定員を越える希望者を得て、好評を博しています。今年度の開催は下記のとおりとなりました。

### 第8回常民文化研究講座

「わざ・ところ・からだ 芸能の継承と現状」

(2004年11月13日、横浜キャンパス2号館地下演習室)

舞や謡や演技に型のある芸能として「能」と「京劇」を、型のない芸能として「奥三河の花祭り」と「中国江西省石郵村の儺舞」を取り上げ、それぞれの技術の習得に見出せる芸の伝承の本質についての報告がなされました。それぞれの発表をめぐって活発な意見交換が行われ、盛況のうちに終了しました。

- ・「能の演者の視点から 芸の伝承」/ 関根祥人(観世流能楽師)
- ・「京劇における女形の復活」/ 新飛(日中伝統戯劇交流促進会会長、作家)・  
通訳 波多野真矢(立教大学講師)
- ・「奥三河花祭りの演者の視点から 芸能の継承」/ 伊藤勝文(花祭会館館長)
- ・「モーションキャプチャーを使つての演技の比較への取り組み 日本と中国」/  
長瀬一男(わらび座デジタルファクトリーチーフディレクター)・廣田律子(本研究所員)
- ・芸能の継承の特色と現状/ 後藤淑(昭和女子大学名誉教授)

古文書修復実習(11月14日・15日、横浜キャンパス3号館)

参加者たちは講師の説明に耳を傾けながら、古文書修復の基本的な工程を熱心に学んでいました。

講師: 田上繁(本研究所員)、関口博巨(鶴見大学)、白水智(中央学院大学)



### ワークショップ

「たたら製鉄 砂鉄から鉄塊をつくる」(11月6日、横浜キャンパスグラウンド)

15人の参加者が2基の耐火レンガ製の炉をつくり、近代以前の製鉄法である「たたら製鉄」を体験しました。たたら1基につき、約2kgの鉄塊をつくることができました。

講師: 永田和弘(東京工業大学・冶金学)



### 第3回企画展

「鍛造の世界 鉄をきたえ意志をふきこむ」

(10月26日～12月21日、横浜キャンパス3号館1階常民参考室)

多くの過程を経て様々な種類の刃物へと形を変えていく、そんな鍛造の世界を取り扱ったユニークな企画・展示として、好評を博しました。

## 訪問研究員

海外提携機関より招聘する訪問研究員は、約2週間の滞在期間中、国内での調査活動に従事します。今年度は研究員約5名の招聘が決まり、うち3名がすでに訪問し、各々の指導教授のもと、研究課題にそつた調査活動を精力的に行いました。



写真左より、尹賢鎮(延世大学)、  
江静(浙江大学)、韓同春(北京師範大学)の各氏。



訪問研究員を囲んでの歓迎会を開催。  
(2004.12.7)

## ホームページ

英語版ページをリニューアルしました。



<http://www.himoji.jp/english/>

## 非文字資料研究 No.6

発行日 第6号 2004年12月31日発行

編集・発行 神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議  
Kanagawa University 21st Century COE Program

Systematization of Nonwritten Cultural Materials for the Study of Human Societies

〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1

Tel.045-481-5661

Fax.045-491-0659

URL <http://www.himoji.jp>

